



9月18日(日)~21日(水)

今年もおいしい海苔ができますように

鬼崎漁港で、海苔の「種付け」作業が行われました。「種付け」とは、水の中で海苔網を張った水車を回し、網に海苔の胞子を付着させる作業です。

胞子をつけた網は一旦冷凍保存され、海水温が下がる10月下旬頃に海への張り込みが行われる予定です。

今年も例年同様に9,000万枚の出荷が目標とのことでした。

9月15日(木)

リサイクルの大切さを学びました。

三和小学校で、サントリーによるペットボトルリサイクルの出前授業がありました。

授業を受けた4年生約20人は、リサイクルペットボトルができるまでの過程や、そのために必要なことなど、クイズやビデオを使って楽しく学びました。

「ボトル to ボトルのペットボトルをもっと増やすためにみんなが頑張りたいことは？」という質問に対し、児童たちは、「分別をしっかりする」など、自分たちにできることを頑張りたいと答えていました。



10月1日(土)

大曽公園多目的グラウンドがオープン

旧競技場と屋外プール跡地がきれいなグラウンドに生まれ変わりました。

1日には、オープンを記念し、市長からFCセントレアの児童に向けてサッカーボールを蹴る「キックインセレモニー」を行いました。

サッカーをはじめさまざまな用途にご利用ください。

9月22日(木)

よりよい常滑へ

市役所議場で、青海中学校の3年生が参加した模擬議会「とこなめ子ども議会2022」が開かれました。

子ども議会では、生徒が8グループに分かれ、市政や学校について、疑問や意見を市議会定例会の一般質問形式で発表し、市議会議員は執行部の立場となり答弁しました。生徒たちは、「議員の皆さんが常滑について考えてくれていることが分かり、貴重な機会だった。自分も常滑について考えていきたい」と感想を話していました。

